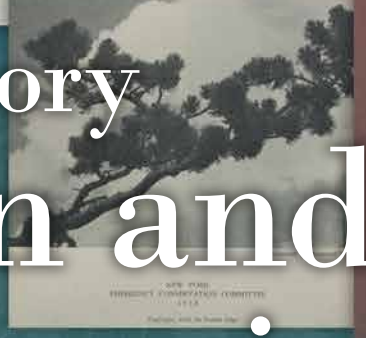
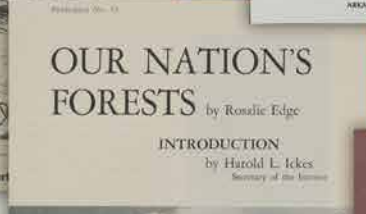
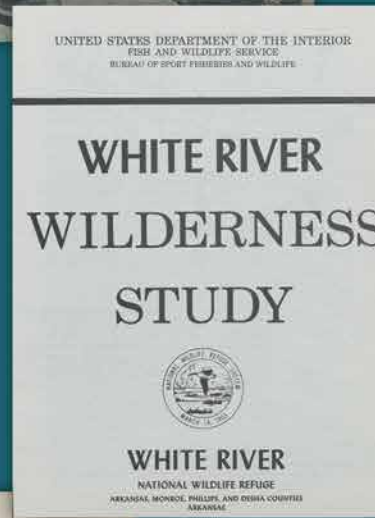
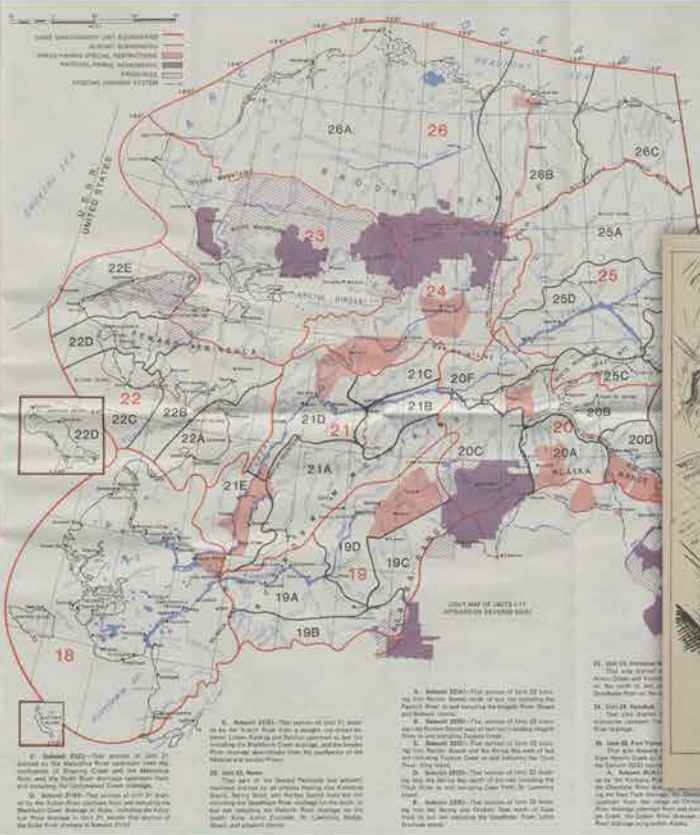




連邦政府・環境保護団体・個人文書を通してみる  
国立公園、国有林、野性動物保護区等、米国内有地の変遷



# Environmental History Conservation and Public History in America, 1870-1980

## 環境史アーカイブシリーズ

Environmental History は環境保護に取り組んだ個人や団体や政府の文書を通して、19 世紀以降の環境問題の歴史に光を当てた新しいアーカイブシリーズです。環境保護の歴史は長く、既に 19 世紀において産業革命や経済成長が深刻な環境破壊を齎すのを目の当たりにして、人々の間に環境意識が芽生えました。20 世紀には環境保護運動は本格化し、現在では環境問題は国際政治の重要なテーマになっています。これに伴い、歴史研究においても環境が新しい研究領域として浮上しています。本アーカイブは、環境史という新しい歴史研究のための一次資料集となるべく制作されるものです。

## 米国における環境保護の複合的な歴史を浮き彫りにする資料集

シリーズ第 1 集は国有地を管理する連邦政府省庁である内務省土地管理局 (Bureau of Land Management)、内務省開墾局 (Bureau of Reclamation)、農務省森林局 (Forest Service) の文書、国立公園の設置や整備に尽力したジョージ・グリネル、ロジャー・トール、森林保護に生涯を捧げたジョセフ・ロスロック、野生動物保護運動に携わったロザリー・エッジ、ヴェルマ・ジョンソン、アメリカバイソン協会の文書を収録します。これらの政府機関、団体、個人は、国立公園、国有林、野生生物保護区の設置や整備を通して、自由な経済活動が齎す環境破壊から自然を保護することに貢献しました。しかし、環境保護の歴史は単線的な歴史ではなく、連邦政府、州政府、連邦議会、環境保護団体、企業、個人等、様々な利害関係者が協調と対立を繰り返しながら展開する複雑な歴史のプロセスを辿りました。環境保護団体も一枚岩ではなく、環境保護の政策を巡り対立が生じました。本アーカイブに収録される文書群は、米国の環境保護の複合的な歴史を浮き彫りにする貴重な資料集です。

## 国有地管理政策を通してみる米国環境小史

米国では建国以来、連邦政府が広大な国有地を自営農民、鉄道会社、木材会社等に払い下げてきました。民間に払い下げられた土地は自由な経済活動に委ねられ、その結果として経済成長が実現しましたが、その一方で乱伐や土壌や河川の汚染といった深刻な環境破壊を招きました。こうして深刻な環境破壊を目の当たりにした人々の間に環境保護の意識が芽生え、一部の国有地を民間への払い下げ対象から除外し、国立公園や国有林や野生動物保護区として指定することで、自由な経済活動が齎す環境破壊から保護する動きが 19 世紀末に起こります。国立公園の歴史は 19 世紀に始まります。1872 年にイエローストーンが世界初の国立公園に指定され、1890 年には国立公園の父と称されるジョン・ミューアの尽力により、ヨセミテ渓谷が国立公園に指定されます。以来、国立公園協会会長を務めたジョージ・グリネルや国立公園監督官を務めたロジャー・トールらの尽力により、多くの国立公園が誕生し、生態系が保護されました。1916 年には国立公園を管轄する連邦政府機関として国立公園局 (National Park Service) が設置されました。国有林保護も 19 世紀末に始まります。森林保護区法(1891)と森林管理法(1897)という森林保護法制が整備され、国有林の管理運営を担う連邦政府の機関として森林局が 20 世紀初頭に設置されます。国有林の保護は森林局長官を務め、科学的林業を提唱したギフォード・ピンショアやペンシルヴァニア州の初代森林局長官を務め、林業の父と称されたジョセフ・ロスロックらの功績に帰せられます。野生動物保護に目を向けると、19 世紀末にはセオドア・ローズヴェルトが創設したブーン・アンド・クロケットクラブやオーデュボン協会等の野生動物保護団体が誕生します。ロザリー・エッジがペンシルヴァニア州の土地を自費で購入し、禽獣類を保護するホーク・マウンテン野生動物保護区を創設し、連邦政府機関としては魚類野生生物局が 1940 年に設置されるなど、野生動物保護運動は 20 世紀に本格化します。国立公園局、森林局、魚類野生生物局は国有地を管理する連邦政府機関ですが、最大規模の国有地を管理するのが内務省土地管理局です。第二次大戦後まもなく設立された土地管理局はしばらく権限が弱い時代が続きましたが、1976 年連邦土地政策管理法により多目的資源としての国有地を管理する明確な権限を付与されることになり、国有地管理は抜本的な改革を成し遂げました。

### Environmental History シリーズ

第 1 集: 米国の環境保護と環境政策に見る環境の歴史【2023 年リリース】

Environmental History: Conservation and Public History in America, 1870-1980

第 2 集: 英国の植民地政策と海外開発援助政策に見る環境の歴史【2024 年 3 月リリース予定】

Environmental History: Colonial Policy and Global Development, 1896-1993

第 2 集は米国外の地域に視点を移し、アフリカ、南アジア、東南アジア、カリブ海沿岸地域の環境史関係の文書を収録します。収録文書は英国政府文書で、植民地省の文書の他、外務省技術支援課 (Department of Technical Co-operation)、海外開発庁 (Overseas Development Administration)、海外開発省 (Ministry of Overseas Development) 等、20 世紀後半の植民地独立後の時代に旧植民地諸国や英連邦加盟国向けの開発援助政策を推進した政府省庁の文書を収録します。



# Environmental History Conservation and Public History

## 収録コレクション

### George Bird Grinnell Papers, 1886-1939

ジョージ・バード・グリネルは米国最古の野生動物保護団体ブーン・アンド・クロケットクラブ (Boone and Crockett Club) の創設メンバーで会長を務め、オーデュボン協会とニューヨーク動物学会の創設にも関わり、アウトドア愛好家向け雑誌で国立公園運動を後援した『フォレスト・アンド・ストリーム (Forest and Stream)』の編集長を務めました。国立公園の設置に尽力したグリネルは、国立公園協会の会長に選出され、国立公園における狩猟を禁止する運動を推進しました。本コレクションは野生動物の保護に生涯を捧げたグリネルの書簡や論文を収録します。

### Roger W. Toll Papers, 1920-1936

ロジャー・W. トールはコロラド山岳クラブの創設メンバーの一人で、ロッキーマウンテン国立公園が誕生した1915年に刊行された『コロラド登山データ』の編纂に携わり、ロッキーマウンテン国立公園監督官としてトレイルリッジロードの建設計画を主導し、イエローストーン国立公園監督官として訪問者が生態系に与える影響を軽減することに努めました。本コレクションはトールが作成した各種報告書を中心に収録します。多数の写真も含まれています。

### Rosalie Edge Papers, 1930-1954

ロザリー・エッジは野鳥への関心から全米オーデュボン協会に加盟、特に猛禽類の保護活動に関わりました。その後、緊急保全委員会 (Emergency Conservation Committee) を1929年に創設、30年間に亘り会長を務めました。その生涯で最大の成果とされるのが、猛禽類の狩猟地であるペンシルヴァニア州南西部の土地を購入し、ホーク・マウンテン野生動物保護区 (Hawk Mountain Wildlife Sanctuary) を創設したことです。本コレクションは、全米オーデュボン協会、緊急保全委員会、ホーク・マウンテン野生動物保護協会、キングズ・キャニオン国立公園に関する文書を収録します。1930年代から1950年代にかけての米国の環境保護運動の動向を伝える貴重な文書群です。

### Velma Johnston ("Wild Horse Annie") Papers, 1955-1977

ヴェルマ・ジョンストンは西部の野生の馬とロバ (ブーロ) の保護に生涯を捧げたことにより、「野生馬のアニー」の異名を取りました。それまで顧みられることのなかったこれらの動物の保護のために声を挙げ、議会での法制化に向けたロビー活動を行ないました。ムスタング・ブーロ国際保護協会 (International Society for the Protection of Mustangs and Burros) を創設し会長に就任、保護活動のための世論喚起に努める一方で、議会のロビー活動を精力的に行ない、野生馬の追跡に自動車を使うことを禁ずるネヴァダ州法と連邦法を成立させました。本コレクションは野生の馬やロバの保護に関わる活動からプライベートの活動まで、ジョンストンの公私両面の活動を記録する文書群を収録します。

### The Papers of Joseph Trimble Rothrock, 1862-1922

ジョセフ・トリブル・ロスロックは外科医としてサナトリウムでの結核治療の先鞭をつけた人物ですが、植物学者としても名を成しました。シュトラズブルク大学に留学し、著名な植物学者で植林の提唱者であるハインリッヒ・アントン・ド・バリーの面識を得たことで、森林学に目覚めます。帰国後、故郷のペンシルヴァニアの森林の現地調査を行ない、森林が木材企業により破壊され、河川の流域が茂みを失くしたために頻繁に洪水が発生している状況を明らかにしました。その後、ペンシルヴァニア森林協会を創設し、募金や教育を通じて森林破壊に人々の目を向けました。これらの活動により、ペンシルヴァニア州の初代森林局長官に着任したロスロックは州立公園や森林造営に努めました。ロスロックの活動は他の州や連邦政府の森林行政にも影響を与えました。その影響は外国政府にも及び、近代森林学の母国で、ロスロックが森林に関わる契機を与えたドイツに関心を払いました。本コレクションは林業の父と称されたロスロックの森林保護に関する文書を収録します。

### United States Bureau of Land Management Records, 1944-1979

米国連邦政府土地管理局は1946年の創設以来、2億7,000万エーカーの国有地の管理運営を行ってきました。その業務はエネルギーや鉱物資源開発、牧草地管理、土地利用計画、野生動物や魚類の生息地管理等、多岐に及びます。本コレクションは土地管理に関する書簡や報告書を収録します。

### United States Bureau of Reclamation Project Histories and Reports, 1905-1925

米国連邦政府開墾局 (Reclamation Service, 後に Bureau of Reclamation に改称) は1902年制定のニューランズ開墾法によって創設された開墾基金の運営を行なうために内務省傘下に創設されました。開墾局は西部諸州の国有地売却によって得た資金でダム、発電所、運河を建設しました。連邦政府の主導により灌漑事業と水資源開発が進められた西部はその景観を大きく変貌させることになりました。本コレクションは開墾局の下で実施された様々な開墾事業を記録するプロジェクト史と報告を収録します。

#### <収録プロジェクト>

- ◆ ベル・フォーシェイプロジェクト (サウスダコタ州)
- ◆ ローワーイエローストーン・プロジェクト (モンタナ州、ノースダコタ州)
- ◆ ブラックフィート・プロジェクト (モンタナ州)
- ◆ フラットヘッド・プロジェクト (モンタナ州)
- ◆ フォートベック・プロジェクト (モンタナ州)
- ◆ ハントレー・プロジェクト (モンタナ州)
- ◆ ミルクリバー・プロジェクト (モンタナ州)
- ◆ サンリバー・プロジェクト (モンタナ州)
- ◆ グランドバレー・プロジェクト (コロラド州)
- ◆ ジャクソン湖拡張計画 (ワイオミング州)

# History in America, 1870-1980

- ◆ ショショニー・プロジェクト (ワイオミング州)
- ◆ ボイシー・プロジェクト (アイダホ州)
- ◆ キングヒル・プロジェクト (アイダホ州)

- ◆ ミニドカ・プロジェクト (アイダホ州)
- ◆ クラマス・プロジェクト (オレゴン州、カリフォルニア州)

- ◆ エマティラ・プロジェクト (オレゴン州)
- ◆ オカノガン・プロジェクト (ワシントン州)
- ◆ ヤキマ・プロジェクト (ワシントン州)

## United States Forest Service Collection, 1870-1981

1891年に制定された連邦森林保護区法 (Federal Forest Reserve Act) は国有地に森林保護区を創設する権限を大統領に付与しました。1897年制定の森林管理法 (Forest Management Act) は森林保護区の目的を水流保全と米国民への木材の持続的な供給と決めました。当初、内務省と農務省の下で管理運営されていた森林保護区 (後に国有林) は1905年以降、農務省森林局の下で一元的に運営されるようになります。森林局は科学的林業を提唱したことで知られる初代長官ギフォード・ピンショー (Gifford Pinchot) の下で、木材、原生林、鉱物資源、水流から野生動物、放牧、漁業、レクリエーションまで多目的資源としての国有林の管理運営業務を担いました。本コレクションは木材の販売、鉱山や農場開発請求、樹木病の根絶と抑制等、森林局の活動を記録する文書群を収録します。森林監督官の日記や書簡は国有林保護に関わる現場の一次資料として貴重なものです。

## American Bison Society Records, 1899-1949

アメリカバイソンを保護する団体としてアメリカバイソン協会が1905年創設されました。動物学者のウィリアム・テンプル・ホナーデイが初代会長に、セオドア・ローズヴェルト大統領が名誉会長に就任しました。協会が行なった活動の中で特筆すべき業績は、バイソンの個体数把握のために国内外に質問票を送り、アンケート結果に基づきバイソンの個体数に関するセンサス報告を刊行したことです。報告には欧州やロシアに生息するヨーロッパバイソンの個体数も記録されています。1920年代以後、協会は狩猟動物や水鳥、ブロングホーン、ワピチ (シカ) 等、バイソン以外の動物にも保護活動の対象を拡大します。本コレクションは協会の年報 (1905年から1930年)、バイソン個体数に関する調査記録とセンサス報告 (1908年から1934年)、協会が利用した様々な参考図書等を収録します。

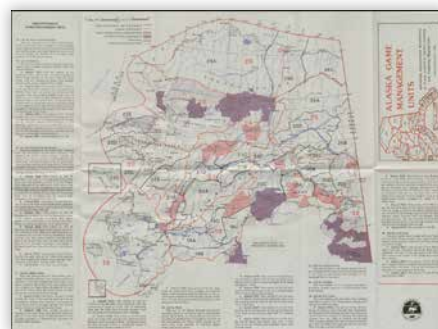
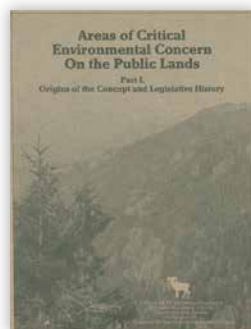
## Institute of Governmental Studies Library, UC Berkeley:

### Selected Publications on Conservation and Environmental Policy, 1919-1975

カリフォルニア大学バークレー校の政府研究所が所蔵する環境保全と環境政策に関する刊行物を収録します。1920年代から1970年代にかけて州や郡や地方都市の政府機関や各種団体が発行した野生生物管理、土地利用と保存、公衆衛生、大気や水質保全、エネルギー開発等の主題に関する刊行物です。

## 収録資料の例

### 土地管理局と国有地管理



連邦政府省庁の中で最大規模の国有地を管理する内務省土地管理局。土地管理局の国有地管理を抜本的に改革したのが1976年制定の連邦土地政策管理法。それまで半ば放置されてきた国有地の管理体系を見直し、原生自然 (ウィルダネス) の基準に合致する国有地を全国原生自然保護区 (National Wilderness Preservation System) に登録する手続きを明確にした。その手続きを定めたのが Wilderness Inventory Handbook (左)。同法は歴史的・文化的価値を持つ国有地や美的景観を有する国有地を保護する目的の下、重大環境問題区域の概念を定めた。左から2つめはこの概念を解説した冊子。土地管理局管轄の国有地は西部の州に多いがその中でもアラスカ州は最大規模。アラスカ州の国有地拡大をもたらしたのが1980年に制定されたアラスカ国有地保護法。右から2つ目は狩猟管理ユニット (Game Management Unit) を表した地図。土地管理局の活動は米国内だけでなく諸外国にも及んだ。右は日米天然資源開発協力会議の林業パネルの報告書 (1973年)。



## 森林保護



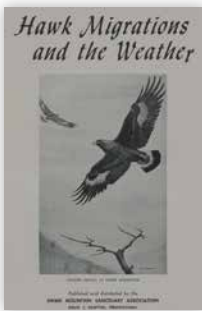
科学的林業を提唱し、森林局初代長官を務めたギフォード・ピンショー（左）。右は『最高の善：森林局の歴史』というパンフレット。

## 国立公園



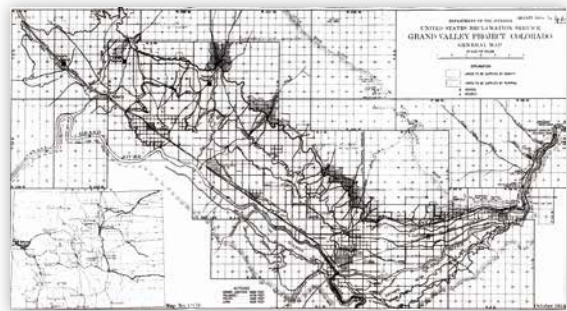
国立公園の父と呼ばれたジョン・ミュア（左）。ロジャー・トル文書には各州の国立公園案を示す地図が収録されている。右は1925年のオレゴン州の国立公園案。

## 野生生物保護



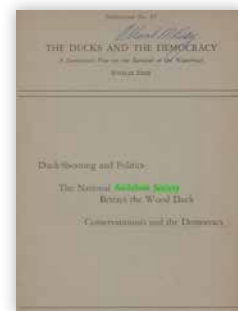
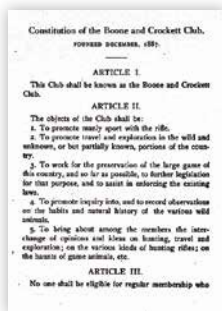
左はホーク・マウンテン野生動物保護区協会が発行した『鷹の渡りと気象』。右は緊急保全委員会の報告書に掲載されたジェイ・ノーウッド・ダーリングの挿絵で、狩猟反対の姿勢を示している。「スポーツマン」を「フェアで思いやりのある人」と定義した辞書の説明を読むカモ（狩猟で負傷している）が「この辞書は間違っている。でなければ、彼ら（狩猟者）を間違った名前で見ている」とつぶやいている。

## 開墾プロジェクト



開墾局の文書には、様々な開墾プロジェクトに関する記録が収録されている。上はコロラド州グランドバレーの開墾プロジェクト文書に収められている地図。

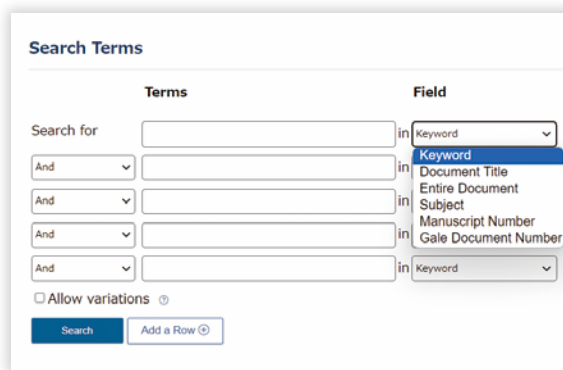
## 環境保護団体



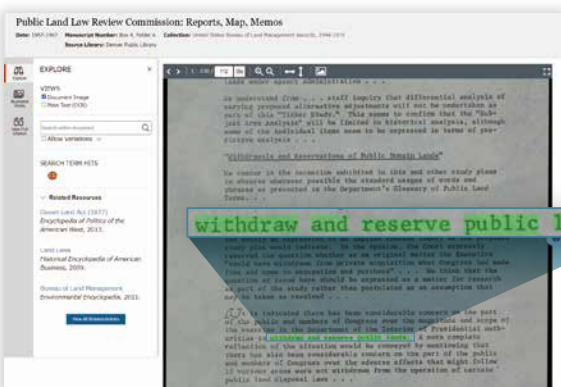
ジョージ・グリネル文書にはブーン・アンド・クロケットクラブに関する文書ファイルが収録されている。左はクラブの規約。左から2つめはウィルダネス協会（Wilderness Society）のニュースレター Wilderness News。左から3つめは全米野生動物連盟（National Wildlife Federation）のニュースレター Conservation News。緊急保全委員会はオーデュボン協会の不正を調査するために創設された。右はロザリー・エッジのパンフレット『カモと民主主義：水鳥が生き残るための民主的嘆願』で、オーデュボン協会を告発する内容。



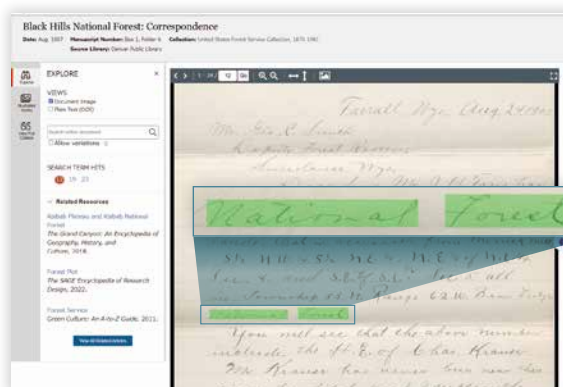
トップページ



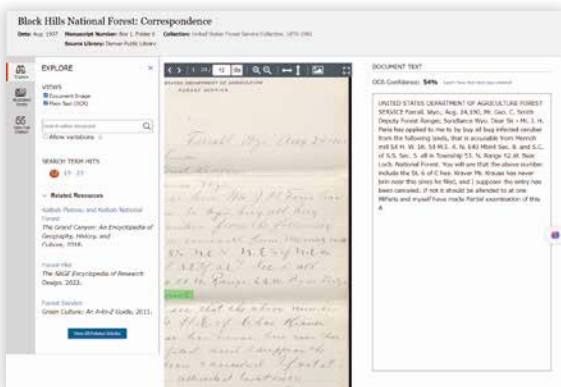
詳細検索（検索範囲の指定・掛け合わせ検索・ファジー検索）



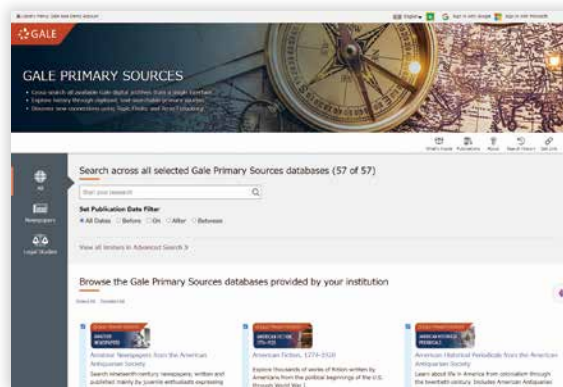
一字一句をフルテキスト検索、検索語はハイライト表示



手書き文書もフルテキスト検索できる手書き文字認識 (Handwritten Text Recognition) を実装



文書表示画面では手書き文書を含め、文書イメージとOCR/HTR テキストを左右見開きで表示することができます



統合検索プラットフォーム Gale Primary Sources では追加コストなしで導入済の Gale の買切データベースとの横断検索ができます。

## データベースの概要

- ◆ 収録資料：パンフレット、タイプ打ち原稿、手書き文書（約 52 万ページ）
- ◆ 収録資料の期間：1870 年～1980 年
- ◆ 収録資料の言語：英語
- ◆ 原資料所蔵機関：米国国立公文書館、イエール大学図書館、デンバー公共図書館ほか
- ◆ 機能：ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDF ファイルのダウンロード、OCR/HTR テキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、Google / Microsoft ログインとクラウド連携を実装、別契約の Gale Digital Scholar Lab でテキストマイニングでもご利用いただけます。



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける無料トライアルをご提供しております。  
商品に関するお問い合わせは、センゲージャーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp